

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
103-221	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション II	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	CII 720	CREATIVE English Communication II		

1. 編修の基本方針

- (1) 音声、表現、文法などといった英語の言語知識や五つの領域の活動に役立つ知識を理解し、それらを実際の言語活動で活用できる技能を身につけられるようにした。
- (2) 各レッスンの題材は、知識として知っておきたい内容であるばかりでなく、豊かな思考力を育める内容とした。また、我が国および世界の文化への理解を促し、自分を取り巻く世界に広く目を向けることができるように留意した。
- (3) 各レッスンの題材内容の要点などを的確に理解し、理解した内容を活用して、表現したり伝え合ったりすることができるよう、五つの領域の活動およびそれらを統合した言語活動を豊富に提供する構成とした。
- (4) 英語と日本語の表現形式の違いなどに注意して、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、これからの国際社会に生きる日本人として必要なコミュニケーション能力を養うことができるように配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材／活動	①高校生にとって身近で日常的な話題のみならず、知的で確かな教養を与える内容や知的好奇心を喚起する内容を中心とした。(第1号)	Lesson 1～9
	②豊かな感性や道徳心が培われるよう、高校生の感性に訴えかけるストーリーを採録した。(第1号)	Optional Lesson 1・2
	③気候変動に具体的な対策を提案する若者や、探検家として活躍する女性のメッセージを紹介し、目標達成に向けてどのようなことをすべきかについて発信する。(第2号)	Lesson 1・7
	④アスリートのスピーチに見られる技法を学び、生徒自身の発信活動でどのように活用できるかについて考える。(第2号)	Lesson 3
	⑤防災や電池といった社会に必要なテクノロジーについて理解し、それらが未来において発展している姿を想像して表現する。(第3号)	Lesson 4・8
	⑥食品ロスの実態および、それを軽減するために実施されている対策を取り上げた。(第3号)	Lesson 6
	⑦気候変動の実態を知り、その対策としてできることを表現する。(第4号)	Lesson 1
	⑧動物の特徴的な睡眠について学び、その睡眠習慣はどのように形成されたのかを想像して表現する。(第4号)	Lesson 2
	⑨日本や世界の元号の歴史を学び、日本のさまざまな元号やそれに使われる漢字について考えたことを表現する。(第5号)	Lesson 5
	⑩オーバーツーリズムの問題と新しい旅行様式について理解し、オーバーツーリズムの問題を克服するためにどのようなことをすべきか発信する。(第5号)	Lesson 9

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 本文への導入ページ，本文ページ，本文で学習した内容を深めるページ，学習をふり返るページという，一連の学習の流れをわかりやすくし，段階的に学習できるようにした。
- 各レッスンの冒頭にはレッスン全体の学習目標を，各パートにはパート別の学習目標を明示し，また，各レッスン末には学習目標をどの程度達成できたかを自己評価するページを設け，生徒の主体的な学びと学習意欲の継続に資するようにした。さらに，後見返しには教科書全体における五つの領域別の **CAN-DO** リストも設けている。
- どの領域の活動を行うかをわかりやすくするために，各活動には五つの領域別のアイコンを置いた。統合的な言語活動を行うことを想定した箇所には複数の領域のアイコンを設置している。各レッスンで五つの領域すべてを扱うことができるようにした。
- 言語活動を充実させるべく，五つの領域に関する活動においてポイントとなる内容をまとめた **Focus on Five Skill Areas** を設けた。
- 本文内容に関連した背景情報をまとめた特集ページ **Did You Know?**を設け，内容的に関連している他教科や **SDGs** を示した。英語の言語知識やコミュニケーション能力以外にも，さまざまな教養を涵養できるようにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
103-221	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション II	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	CH 720	CREATIVE English Communication II		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

●何ができるようになるか、どのように学ぶかを明示し、主体的な学びを促進

- どのような言語活動を行うかを含む学習目標を、各レッスンの冒頭と各パートなどに示し、主体的に学習に取り組めるようにした。
- 各レッスンで取り上げた題材は課題解決型の本文とし、レッスン末の Over to You はレッスン全体にかかわる課題を解決する言語活動である。
- 各レッスン末には学習目標をどの程度達成できたかをふり振り返り、自己評価するページを設け、生徒の主体的な学びと学習意欲の継続に資するようにした。
- 自己評価のページは、評価のアカウンタビリティの担保にもなると期待した。
- 後見返しには、教科書全体における五つの領域別の CAN-DO リストも示した。

●必然性のあるコミュニケーション場面における言語活動で、思考力や判断力を育成

- 「英語コミュニケーション II」の五つの領域別の目標を実現するために設定した活動に、領域別のアイコンを置くことで、目標と活動との関係を明示した。各レッスンで五つの領域すべてを扱うことができるようにした。
- 言語活動を充実させるべく、五つの領域に関する活動においてポイントとなる内容をまとめた Focus on Five Skill Areas を設けた。
- Focus on Five Skill Areas は、未知語の意味の推測などといった「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を念頭にまとめた。
- ブログなどのウェブサイトやユーザーマニュアルなど、高校生が実際の生活で直面するであろうコミュニケーション場面を多く設定し、必然性のある言語活動となるように配慮した。
- 各レッスン末の「本文の内容を比べよう」は、同じ論点について別の具体説明がなされている、あるいは、立場や論点が異なる複数のテキストを、やり取りによって読み比べて止揚させることを想定した活動であり、思考力や判断力が涵養されることを期待している。

●音声、語、文法事項などの「知識」は「活用」することを重視

- Sound Focus および Word Focus は、音声知識や語彙知識を実際に活用することを想定した記述となるように心がけた。
- Focus on Language の Exercises は文法知識の活用を意識した問題も取り入れた。

●教科等横断的な視点に立った題材選定で、他の教科等で学習した内容や ESD 教育に対応

- 教科学習と外国語学習を統合する CLIL (内容言語統合型学習) の考え方も背景に題材を選定した。
- 他教科で学習する内容を、複数のレッスンの題材として取り上げたことにより、各学校における教科横断・教科連携型の授業に対応できる。
- 本文内容に関連した背景情報をまとめた特集ページ Did You Know? に、関連している他教科を示し、教科横断・教科連携型授業において活用しやすいようにした。
- 関連教科とともに、関連する SDGs についても示した。現代の諸課題を認識し、対話的な言語活動などによって問題解決能力が育成されることを期待した。

本課の構成と特色

(1) レッスン扉

- Get Ready : 英語を聞き、聞いた英語と写真を参考にして、問いに対する自分自身の考えなどを話して伝え合う活動。

- ・ **Goals for Lesson 1** など：「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」「学びに向かう力・人間性の涵養」という観点別のレッスン全体の目標。

(2) Part 1

- ・ 冒頭：本文のテキストタイプ。
- ・ **Goals for Part 1**：「思考力・判断力・表現力」の観点からの **Part 1** の目標。
- ・ リード文：コミュニケーションの場面の提示。
- ・ 本文：さまざまなテキストタイプの本文を聞いたり読んだりする活動。聞く活動のスクリプトには、語などの学習すべき言語材料が含まれているため、巻末の「スクリプト集」にスクリプトを掲載し、その内容をふり返りやすくさせた。
- ・ 脚注部 1 段目：新出単語と発音記号。**CEFR-J Wordlist** の A2 レベルの語は、表現活動でも積極的に用いたい「発信語彙」として赤字にし、他の語と区別した。また、国名などを除く固有名詞等も異なるフォントを用いて区別した。アクセントや発音に注意すべき語にはそれぞれマークを付した。
- ・ 脚注部 2 段目：重要表現と例文。
- ・ **Comprehension**：聞いたり読んだりした本文内容をまとめ、それを伝える活動。
- ・ **Over to You**：上でまとめた内容を活用して、自分自身の考えなどを表現する活動。

(3) Part 2～4

- ・ **Goals for Part 2** など：「思考力・判断力・表現力」の観点からの各パートの目標。
- ・ リード文：本文の導入となる内容の提示。
- ・ 本文：パラグラフの先頭に番号を付した。行間の「G-1」などは **Grammar** で取り上げた内容を、「FSA1」などは **Focus on Five Skill Areas** で取り上げた内容であることを示す。
- ・ 側注部：新出単語と発音記号。
- ・ **Sound Focus**：新出単語の発音に関するコラム。
- ・ **Word Focus**：新出単語の語彙情報に関するコラム。
- ・ **Now You Say It!**：本文内容を参考にして、自分自身の考えなどを表現する活動。
- ・ **Q**：各パラグラフの要点を確認する問題。
- ・ **T・F**：本文の内容をリスニングによって確認する問題。
- ・ 脚注部 1 段目：重要表現と例文。
- ・ 脚注部 2 段目：文法事項の例文。

(4) Did You Know?

- ・ 本文を読んだり、表現活動をしたりする際に参考にしたい背景情報。
- ・ 内容的に関連している他教科や **SDGs** も提示。

(5) Make It Your Own!

- ・ **Goals for “Make It Your Own!”**：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の観点からの目標。
- ・ **Read Aloud Again**：**Focus on Five Skill Areas** で取り上げた英語の特徴などに注意して、**Part 2～4** の本文を音読する活動。
- ・ **Summarize**：**Part 2～4** の本文内容をまとめ、それを伝える活動。
- ・ **Retell**：上でまとめた内容を活用して、本文内容を伝える活動。

(6) Activity Plus

- ・ **Part 1** と同じ構成であるが、各レッスンの学習を深めるページとして、**Over to You** の言語活動はレッスン全体を総括するような「レッスン課題」としている。

(7) Focus on Language

- ・ **Goal for “Focus on Language”**：「知識・技能」の観点からの目標。
- ・ **Grammar**：文法事項の説明と例文。
- ・ **Exercises**：A 問は、整序作文や空所補充などによって、重要表現の理解を試す問題である。B 問は、与えられた状況に適した英文を完成させる問題などで、文法知識を活用する練習としている。
- ・ **TRY**：文法知識を活用して話したり書いたりする活動。

(8) Focus on Five Skill Areas

- ・ 五つの領域の活動に役立つ英語の特徴などをまとめたページ。
- ・ **TRY**：英語の特徴などの知識を、練習問題を通して実際に活用する活動。
- ・ **Tips**：本文のテキストタイプなどを解説したコラム。

(9) Reflect on Your Learning

- ・ 各パートなどの目標を、どの程度達成できたかを 3 段階で自己評価するためのページ。
- ・ 3 段階での自己評価以外に、テキストタイプの特徴や言語活動において注意すべき点などについて、

生徒自身でふり返って記入させる箇所も設けた。

- ・本文の内容を比べよう：各パートや Activity Plus の本文を読み比べる活動。本文をふり返りながら、共通する点や異なる点などをやり取りによって確認する。

その他の特色

- 生徒の自学自習への配慮（二次元コードや URL から動画・音声の視聴が可能）
- 英語コミュニケーションⅠからの円滑な接続（英語コミュニケーションⅠでの学習事項を収録）
- カリキュラム・マネジメントへの対応（各パート 1～2 ページ構成で、組織的な授業計画が可能）
- 特別支援への目配り（学習内容を視覚的に示すアイコン、学習要素の提示方法や位置を基本的に固定）

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1. Lesson 1～9 ①Get Ready 写真を見ながら英語を聞く。その後、聞いた英語と写真を参考にして、問いに対する自分自身の考えなどを話して伝え合う活動。	2 内容 (2) ア, イ, ウ (3)① ア, イ, エ 3 内容の取扱い	p.5, 21, 37, 53, 69, 85, 101, 121, 139	別表
②Part 1（本文, Comprehension） Activity Plus（本文, Comprehension） さまざまなテキストタイプの本文から必要な情報を読み取り、要点をまとめる活動。また、まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (1) イ (2) ア, イ (3)① ア, ウ (3)② ア, イ（別表参照） 3 内容の取扱い	p.6-7, 22-23, 54-55, 86-87, 96-97, 122-123, 140-141	
③Part 1（本文, Comprehension） Activity Plus（本文, Comprehension） さまざまなテキストタイプの本文から必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりし、要点をまとめる活動。また、まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (1) イ (2) ア, イ (3)① ア, イ, ウ (3)② ア, イ（別表参照） 3 内容の取扱い	p.16-17, 32-33, 38-39, 48-49, 64-65, 70-71, 80-81, 102-103, 116-117, 134-135, 152-153	
④Part 1（Over to You） Activity Plus（Over to You） 本文を聞いたり読んだりして得られた情報を活用して、自分自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ, ウ (3)① オ, カ (3)② イ（別表参照） 3 内容の取扱い	p.7, 17, 23, 33, 39, 49, 55, 65, 71, 81, 87, 97, 103, 117, 123, 135, 141, 153	
⑤Part 2～4（本文, 「Q」および「T-F」） 本文から必要な情報を読み取り、要点を把握する活動。	2 内容 (2) ア (3)① ア, ウ 3 内容の取扱い	p.8-13, 24-29, 40-45, 56-61, 72-77, 88-93, 104-113, 124-131, 142-149	
⑥Part 2～4（Now You Say It!） 本文を読んで得られた情報を活用して、自分自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ, ウ (3)① オ 3 内容の取扱い	p.8-13, 24-29, 40-45, 56-61, 72-77, 88-93, 104-113, 124-131, 142-149	
⑦Part 1（脚注部の語, 連語・慣用表現） Part 2～4（側注部の語, Sound Focus, Word Focus, 脚注部の連語・慣用表現, 文構造・文法事項の例文） Activity Plus（脚注部の語, 連語・慣用表現）	2 内容 (1) ア, ウ, エ 3 内容の取扱い	p.6-13, 16, 22-29, 32, 38-45, 48, 54-61, 64, 70-77, 80, 86-93, 96, 102-113, 116, 122-131, 134, 140-149, 152	

⑧Make It Your Own! (Read Aloud Again) 英語の特徴などに注意しながら, Part 2~4 の本文を音読する活動。	2 内容 (1) ア (3)② イ (別表参照)	p.14, 30, 46, 62, 78, 94, 114-115, 132- 133, 150-151
⑨Make It Your Own! (Summarize, Retell) 本文の要点をまとめる活動。また, まとめた 内容を伝える活動。	2 内容 (2) ア, イ (3)① ア, ウ 3 内容の取扱い	p.15, 31, 47, 63, 79, 95, 115, 133, 151
⑩Focus on Language (Grammar, Exercises, TRY) 文構造・文法事項のまとめ。連語・慣用表現, 文構造・文法事項を活用する活動。	2 内容 (1) ウ, エ (別表参照) 3 内容の取扱い	p.18, 34, 50, 66, 82, 98, 118, 136, 154
⑪Focus on Five Skill Areas 英語の特徴などのまとめと練習問題。	2 内容 (1) ア, イ (別表参照) (3)① ア, イ, ウ, エ, オ, カ (3)② イ (別表参照) 3 内容の取扱い	p.19, 35, 51, 67, 83, 99, 119, 137, 155
⑫Reflect on Your Learning (本文の内容を比 べよう)	2 内容 (2) ア, イ, ウ (3)① ア, イ, ウ, エ	p.20, 36, 52, 68, 84, 100, 120, 138, 156
2. Optional Lesson 1・2 ①Get Ready 写真を見ながら英語を聞く。その後, 聞いた 英語と写真を参考にして, 問いに対する自分 自身の考えなどを話して伝え合う活動。	2 内容 (2) ア, イ, ウ (3)① ア, イ, エ 3 内容の取扱い	p.157, 173
②Part 1~5 (本文, 「Q」および「T-F」) 本文から必要な情報を読み取り, 要点を把握 する活動。	2 内容 (2) ア (3)① ア, ウ 3 内容の取扱い	p.158-167 , 174-183
③Part 1~5 (Now You Say It!) 本文を読んで得られた情報を活用して, 自分 自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ, ウ (3)① オ 3 内容の取扱い	p.158-167 , 174-183
④Part 1~5 (側注部の語, Sound Focus, Word Focus, 脚注部の連語・慣用表現)	2 内容 (1) ア, ウ 3 内容の取扱い	p.158-167 , 174-183
⑤Make It Your Own! (Read Aloud Again) ストーリーの展開に注意しながら, 本文を音 読する活動。	2 内容 (1) ア	p.168-170 , 184-186
⑥Make It Your Own! (Summarize, Write) 本文の要点をまとめる活動。また, まとめた 内容を伝える活動。	2 内容 (2) ア, イ (3)① ア, ウ 3 内容の取扱い	p.171, 187
3. List of Phrases / List of Words	2 内容 (1) ウ	p.193-199

<別表> L : Lesson / OL : Optional Lesson / P : Part / AP : Activity Plus

課	タイトル 内容（関連教科など）	・文構造・文法事項 ・英語の特徴など	・テキストタイプ ・言語の働き	配当 時数
L1	Voice for Action 国連ユース気候サミットの参加者のメッセージ (公民, 理科, SDGs)	・さまざまな助動詞 ・分詞構文（現在分詞） ・英文の内容に応じた音読	・Website (P1) ・Mock Summit (AP) ・要約する／説明する／理由を述べる／主張する	10
L2	Aren't You Sleepy? さまざまな動物の睡眠 (理科, 保健体育)	・受け身の分詞構文 ・副詞節中の〈S+be〉の省略 ・未知語の意味の推測	・Picture Card (P1) ・Interview (AP) ・要約する／説明する／描写する	10
L3	Becoming Attractive to Your Audience アスリートのスピーチに見られる特徴	・関係代名詞の非制限用法 ・仮定法過去・仮定法過去完了 ・文章の展開（列挙）	・Speech (P1) ・Speech (AP) ・共感する／褒める／感謝する／要約する／説明する	10
L4	Are You Prepared? 自然災害と防災（国語, 地理歴史, 理科, SDGs）	・助動詞+have+過去分詞 ・完了不定詞 ・文章の展開（例示・追加）	・Poster (P1) ・Presentation (AP) ・要約する／説明する／提案する	10
L5	The Era of Beautiful Harmony 日本と世界の元号 (国語, 地理歴史)	・関係副詞の非制限用法 ・同格の that ・同格表現・言い換え表現	・Website (P1) ・Discussion (AP) ・要約する／説明する／主張する／助言する	10
L6	Actions to Reduce Loss and Waste 食品ロス（フードロス・フードウェイスト）とその対策（家庭, 情報, SDGs）	・完了形の分詞構文 ・複合関係詞 ・文章の展開（対照）	・Q&A Site (P1) ・Questionnaire (AP) ・要約する／説明する／主張する／依頼する	10
L7	Living with Adventure 南谷真鈴さんの冒険とメッセージ（地理歴史）	・さまざまな仮定法 ・否定語+倒置 ・やり取りをうまく継続させる	・Dialogue (P1) ・Presentation (AP) ・要約する／話題を発展させる／驚く／説明する	10
L8	Power to the People! 電池の歴史と将来における発展（理科, SDGs）	・独立不定詞・独立分詞構文 ・if ...以外が条件を表す仮定法 ・文章の展開（時間的順序）	・User Manual (P1) ・Interview (AP) ・要約する／説明する／命令する／主張する	10
L9	Traveling This Beautiful Planet オーバーツーリズムと新しい旅行様式 (地理歴史, 公民, SDGs)	・前置詞+関係代名詞 ・強調構文 ・パラグラフごとの役割	・Blog Post (P1) ・Discussion (AP) ・要約する／報告する／主張する／賛成する／反対する	10
OL 1	May I Have Your Autograph? ロックスターとそのファンの、サインをめぐるやり取り		・Story (P1-5)	6
OL 2	Information Please 幼い子供と電話交換手との交流		・Story (P1-5)	6
計				102